

第35号

By Landscape Architecture

2022 新春号



第3回みどりの景観フォトコンテスト佳作作品 撮影者:谷口健太氏

みどり By landscape architecture 2022 第35号

目 次

巻 頭 挨 拶

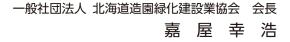
(一社) 北海道造園緑化建設業協会 会長	嘉	屋	幸	浩	1
北海道開発局長	橋	本		幸	2
北海道知事	鈴	木	直	道	3
札幌市長	秋	元	克	広	4

新西		コナウ	フイノ	レスの影	響によ	る行	事の中	止・延	E期		• • • • • • •	•••••	•••••	• • • • • • •	••••	5
研	修等	の事	業	の事業の 見学会												6
普 緑	・ 及ぎ 麗会 麗会	発等 大通 大通	の事 単花壇 単花壇		リンピッ 花壇)…	ク花壇	<u>a</u>)									7
要望	2活重	かれ	進		•••••		•••••	•••••	•••••		•••••	•••••	• • • • • •	•••••	••••	10
•				章伝達式 業関係項	•	宇国土	:交通大	(臣表章	彰 君	支 彰式		•••••			••••	13
コラ	5 ム	「令利]3\$	丰度現場				_	<u>"</u> ザイ)	ン科2年		Ф	友	太 "		14
コラ	5 ム	旧主		座に参加 毎道大学力		学院	花卉・絲	录地計画	学 (修士2年	林		和	沙 …		16
協:	会の	動	き	令和3年	₹7月~	12月		•••••	•••••		•••••	•••••	••••		••••	18
協	会	組	織		•••••			•••••	•••••		•••••	•••••	••••		••••	19
会	員	_	覧		•••••	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•••••	•••••	•••••	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•••••				····· ;	20
会	員	名	簿						•••••			•••••	••••			21
編	集	後	記				総務	多委員長	廣	部修	平					28





新年ごあいさつ





新年あけましておめでとうございます。

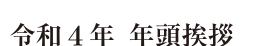
皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。この一年が皆様にとって、素晴らしい年になりますよう、心から祈念しております。また、平素より協会運営に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年はオリンピックイヤーの年でした。新型コロナウィルスが収まりを見せない時期に開催を決め、無観客という残念な運営方式とはなりましたが、感染対策に万全を期して見事、感染の拡大もなくまさにレジェンドとなる大会となりました。その後、日本では、新型コロナウィルス感染者数も落ち着きをみせ収束に向かっている様にも思われます。一方世界に目を向けますと、まだまだ感染者の数が減らずオミクロン株という新たな不安材料が見つかり日本も気を抜けない状況となっておりますが、我々は、これまで通りの感染対策をしっかり取り組んでいくことが大切だと思っております。本年は、いよいよ第39回全国都市緑化北海道フェア「ガーデンフェスタ北海道2022」が開催されます。昨年から会員の皆様にはフェアの成功にむけて多大なご協力を頂いております事をこの場を借りて御礼申し上げます。1986年さっぽろフェア以来の北海道での開催ですので、北海道民の皆様にも貴重な体験がして頂けると思っております。このフェアを機に、緑豊かな潤いのある都市づくりに理解を深め都市緑化意識の高揚が図られ、今後の都市の街づくりに活かされること期待したいと思います。

この長く続いているコロナ禍の中で、我々が携わる身近な公園や緑地が、人々の健全な生活を送るために重要なインフラであることの再認識がされた事は、厳しい状況の中での大きな収穫であり、より一層の期待に応えるべく造園業界においては引き続き働き方改革への対応、担い手の確保、育成対策にしっかり対応していかなければなりませんが、これらの課題の多くは、一企業では解決出来ないものもあり大きな変化の時代、協会の役割はますます重要となります。今後とも造園建設業の発展と社会的使命を果たすべく、緑を通じて、地域社会にとって存在意義のある団体であるよう、努力を重ねてまいる所存でございます。

本年も皆様方のご指導、ご協力、ご支援を宜しくお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせて頂きます。







国土交通省 北海道開発局長橋 本幸

明けましておめでとうございます。謹んで、新年のお喜びを申し上げます。

年頭にあたり、本年の主な取組について申し上げます。

1つ目は、次期北海道総合開発計画策定の検討です。

昨年度、第8期北海道総合開発計画(以下、「8期計画」という。)は中間点検を終えて折り返しを迎えました。この間、2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染症は世界中で猛威を振るい、 我が国と北海道の社会・経済にもきわめて大きなダメージを与えました。

また、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた国の方針が打ち出されるとともに、様々な分野において、脱炭素化やデジタルトランスフォーメーションに向けた施策が始まるなど、我が国と北海道をとりまく情勢は、急速かつ大きく変化しております。

このような状況に対して、北海道開発行政についても臨機応変に、かつ時機を逸することなく対応していく必要があり、昨年10月に開催された国土審議会第25回北海道開発分科会において、2050年の長期を見据え新たな北海道総合開発計画の策定に向けた検討を始めることが決定されたところです。

引き続き、着実に8期計画を推進しながら、我が国の発展や直面する課題解決に貢献できるよう、 国土交通省の一員として新たな北海道総合開発計画の策定に向けた検討に参画してまいります。

2つ目は、強靱で持続可能な国土の形成です。

近年全国的に、大雨や地震等による大規模災害が頻発しています。北海道内でも、平成28年8月の連続台風による豪雨、平成30年の北海道胆振東部地震等により、大きな災害が発生しました。北海道開発局は、被災地の早期復興に向けて、引き続き支援を行ってまいります。

なお、防災・減災、国土強靱化のための5カ年加速化対策では、取組の更なる加速化・深化を図るとしており、関係機関等との調整や連携を行いながら、インフラ施設等の耐震・津波対策、老朽化対策を推進してまいります。また、災害発生時には、所管施設の迅速な応急復旧等を行うとともに、職員からなるTEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)や災害対策用資機材の派遣等により、被災自治体に対して被災状況調査や応急復旧等の支援などを行ってまいります。

また、建設業等の働き方改革も重要です。

社会インフラの整備・維持管理や災害対応に重要な役割を担っている建設業等については、生産年齢人口が減少する中、その担い手の確保・育成に向けて働き方改革が急務です。「新・担い手3法」もしっかりと踏まえ、関係機関等と連携して、週休2日確保の促進、i-Construction等による生産性向上など、建設業等の働き方改革に一層取り組んでまいります。

さらに、「民族共生象徴空間 (愛称:ウポポイ)」等を通じたアイヌ文化の復興・発展及び国民理解への取組も促進します。

アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターであるウポポイは、令和2年7月12日に開業しました。北海道開発局は、今後も、国内外から多くの人々がウポポイを訪れ、アイヌ文化の素晴らしさを体験し、民族共生の理念に共感していただけるよう、国の他機関、北海道庁、アイヌ民族文化財団などの関係機関等と緊密に連携し、新型コロナウイルス感染拡大防止対策に対応した魅力的なプログラムを充実するための支援を積極的に実施していきます。

この他の諸施策も、関係機関等と必要な連携をしながら進めてまいります。

最後に、上記の施策等の推進に当たり、新型コロナウイルス感染拡大防止対策と社会経済活動の維持・再生の両立という視点をしっかり踏まえ、早期発注など事業の的確な執行を図るよう、北海道開発局は引き続き使命を果たしていきます。末筆になりましたが、皆様方のご健勝とご発展をご祈念申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。





令和4年 知事年頭所感





新年明けましておめでとうございます。皆様とともに新しい年を迎えられたことを大変うれしく思います。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染者数が増減を繰り返す予断を許さない状況が続く中、感染拡大地域における外出自粛や飲食店等の営業時間短縮など様々な制限を余儀なくされ、社会経済活動に大きな影響が及びました。

この間、私としては、何よりも道民の皆様の命と暮らしを守ることを最優先に、国や市町村などと連携し、感染症への対応に最善を尽くしてまいりました。道民の皆様、事業者の方々には、長期にわたり多大なるご理解とご協力をいただいたことに、改めて感謝申し上げます。

感染症との闘いが続く中にあっても、昨年は本道が有する価値が国内外で大きな注目を集めた年となりました。7月には、「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されたほか、8月には、札幌で開催された東京オリンピックのマラソン・競歩競技に先立ってアイヌ舞踊が披露され、世界に発信されるなど、本道固有の歴史や文化への関心が高まりました。また9月には、バーチャルでの開催ながらアジア初となったアドベンチャートラベル・ワールドサミット2021を通じて、北海道の自然・異文化体験・アクティビティの魅力が世界に紹介され、2023年のリアル開催内定にもつながりました。そして10月には、苫小牧市などにおいて、秋篠宮皇嗣同妃両殿下のオンラインによる御臨席を賜り全国育樹祭が開催され、本道発祥の「木育」の輪を全国に広げる好機となったところです。

また、大規模な物産展の開催が難しい中での首都圏スーパーにおける北海道フェアの成功や、「どさんこプラザ」の羽田空港と大阪あべのハルカスへの新規出店は、発想の転換によりピンチをチャンスに変え、本道の食の魅力を最大限活かし、新たな需要獲得につながる取組となりました。

本年においても、新たな変異株への警戒を最大限に高めながら、感染拡大を抑え、再拡大への備えに万全を期すとともに、社会経済活動との両立に取り組んでまいります。医療・療養体制については、全道で 2,028 床の最大確保病床数を確保しているほか、それを超える事態も想定し、新たに 2,214 床の緊急フェーズを設けるとともに、三次医療圏すべてで宿泊療養施設を運用してまいります。また、社会経済活動の回復に向けて、ワクチン接種を円滑に進めるとともに、どうみん割をはじめとする各種需要喚起策を通じて、感染防止行動を実践しながら日常生活を取り戻していく取組を進めてまいりますので、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

さらに、本道の揺るぎない価値を一層磨き上げながら、コロナ禍に伴う人々の考え方や行動の変化を背景に、積雪寒冷の気候や広域分散型の地域構造など、これまで本道にとってハンディとされてきた特性を新たな強みとして確立するとともに、脱炭素化やデジタル化といった社会変革の動きを的確に捉え、ポストコロナを見据えた「攻め」の視点を持って果敢に挑戦してまいります。

特に、2050年までに温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指す「ゼロカーボン北海道」の実現に向けては、国内随一の再生可能エネルギーのポテンシャルを活かした道内各地域の脱炭素化の取組を支援するとともに、道自身も公用車の次世代自動車化等により 2030年までの 50% 削減に取り組むなど、オール北海道で目指す姿を共有します。

また、ICTやAIなどの技術を活用した未来社会「北海道Society5.0」の実現に向けては、道民の皆様の視点に立った行政サービスのデジタル化や遠隔医療・遠隔教育、スマート農林水産業など地域の実情を踏まえたデジタル化の取組を加速します。

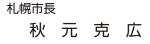
こうした将来の成長につながる政策の種をまき、道民の皆様とともに育て、これからも本道が持続的に発展していけるよう全力で取り組んでまいります。

新しい年が、皆様にとりまして、新たな希望と飛躍に向けたスタートラインとなりますよう、心からお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。





年頭あいさつ





年頭にあたり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

新型コロナウイルス感染症が市内で確認されてから約2年が経過いたしますが、市民・事業者の皆さまには、外出自粛や営業時間の短縮、休業要請など、大変なご負担をお掛けしながらも、ご理解とご協力をいただいておりますことに、あらためて感謝申し上げます。

いまだ予断を許さない状況ではございますが、ワクチン接種の進展や治療薬の普及により、感染対策と社会経済活動の両立に向けた動きが本格化しております。引き続き、感染対策を最優先に取り組みながら、コロナ禍により打撃を受けた事業者への支援を行い、市内経済の回復に向けた取り組みを進めてまいります。

今年は、市制施行100年という節目を迎えます。札幌市は、感染症への対応や人口減少、少子高齢化など、さまざまな課題に直面しておりますが、そうした中でも、誰もが安心して暮らし、魅力と活力を創造し続けるまちづくりを進めていかなければなりません。

そのためには、若い世代が札幌に定着できる環境整備が必要と考え、成長が期待されるITや健康 医療・バイオ等の分野を中心としたスタートアップ企業の創出支援、観光・食関連産業のさらなる振 興などに取り組み、魅力ある雇用の創出につなげてまいります。

また、子どもを産み育てやすい環境づくりのため、引き続き保育定員の拡大に努めるとともに、子育てに困難を抱える方への支援に取り組むほか、北海道初となる公立夜間中学「星友館中学校」を四月に開校し、誰もが輝けるまちづくりにも力を入れてまいります。

そして、未来を見据えたまちづくりを進める契機となるのが、2030年冬季オリンピック・パラリンピックの招致です。世界最大の競技大会の開催は、子どもたちに夢と希望を与えるとともに、スポーツを通じた健康と活力ある社会の実現や、バリアフリー化の推進などにより、全ての人にやさしい共生社会の実現につながるものと考えております。さらに、大会の開催に向けて、市民・企業・行政が力と想いを結集し、さまざまな課題の解決に取り組みながら歩む道のりは、将来にわたって持続可能な街を築いていくための礎になるものと確信しています。今後、市民の皆さまと対話を行いながら、計画のさらなる検討を進め、大会の実現を目指してまいります。

私たちの街・札幌は、先人たちの知恵とたゆまぬ努力により、さまざまな社会経済情勢の変化に対応しながら、世界に誇る大都市へと発展してきました。先人たちから受け継いだこの素晴らしい札幌の街を、未来を担う子どもたちへ持続可能な形で引き継ぐため、今年を次の100年を見据えたまちづくりを進める礎を築く一年としてまいります。

どうか本年も、皆さまのお力添えをよろしくお願い申し上げます。





新型コロナウイルスの影響による行事の中止・延期

新型コロナウィルスの感染防止のため下記のとおり、7月以降に予定していた会議・行事を中止または延期としました。

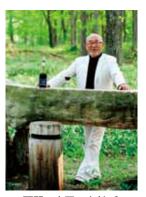
開催日	行 事 名	対 応
8月上旬	安全パトロール〈街路樹剪定現場〉(札幌支部)	中止
9月上旬	庭園樹剪定技術講習会(札幌地区)	中止
10 月上旬	こどものまち「ミニさっぽろ 2021」 (札幌支部で出展)	中 止(実行委員会より 連絡あり)
10月上~中旬	安全パトロール〈公園整備現場〉(札幌支部)	中止
10 月中旬	令和 3 年度 造園技術講演会	延 期(3月4日Zoom 配信にて開催決定)
10 月上旬~ 11 月上旬	道内 開発局・振興局への要望活動	中 止(郵送による要望)
12月3日(金)	第2回理事会、役員等意見交換会及び懇親会	中止
12月中旬	議員連盟懇談・懇親会(札幌支部)	中止
12月上旬~下旬	普通高校・農業高校への出前講座	中止
1月6日(木)	北海道造園懇話会「新年のつどい」	中止
1月上旬	令和 3 年度「建設産業ふれあい展」 (※コロナ禍によりパネル展に変更)	不参加
1月13日(木)	経営者研修会	延期
1月13日 (木)	北海道造園緑化関係団体連絡協議会 「合同新年交礼会」	中止
年度内	自主企画国内派遣研修	中止

追悼【高野 文彰 氏】

当協会 顧問 高野ランドスケーププランニング(株) 代表取締役 会長 高野 文彰 氏が、令和3年8月31日に、ご逝去されました (享年78歳)。

当協会の理事 (H16 ~)、顧問 (H28 ~) を歴任され、協会運営・ 造園業界の発展に大きく寄与されました。

ここに生前のご厚誼に深く感謝いたしますとともに、謹んでお知 らせ申し上げます。



顧問 高野 文彰氏



■ 令和3年 後期の事業の主なもの ■

■ 研修等の事業 ■

令和3年度 現場見学会

日 時:8月19日(木) 10:10~13:40

視察現場:①農試公園施設改修工事(札幌市西区八軒5条西6丁目、㈱コクサク)

②西岡ぬまた公園再整備工事(札幌市豊平区西岡3条10丁目、㈱横山造園)

③平岡樹芸センター講義室(昼食会場)

※①②ともに現地の現場代理人から概要説明後、現場見学、質疑応答

出席者:北海道当別高校 園芸デザイン科 生徒16名、教員3名























■ 普及啓発等の事業 ■

■ 緑麗会 大通花壇造成(オリンピック花壇)

日 時:7月26日(月)9:00~14:00

場 所:大通公園7丁目·南西花壇

参加者:11名

造園業界と業界内で活躍する女性のPRのため「造園業界の女性だけで作る花壇」(ボランティア 花壇)を出展して、3年目の今年はオリンピック花壇として大通を彩ります。

今回の花壇は、五輪マークで描かれている「円」がモチーフのデザイン。

非常に暑い中の作業でしたが無事に、コリウスの黄色がとても目に鮮やかな花壇が出来上がりました。























日 時:8月24日 (火) 9:00~14:00

場 所:大通公園7丁目·南西花壇

参加者:8名

夏花壇は、春のデザインの色違い(花苗違い)バージョンです。

植栽の手順にも慣れて、順調に作業は進みました。サルビアの赤と、シロタエギクの白のコントラストが素敵な花壇に仕上がりました。



















■ 緑麗会 大通花壇の撤去作業

日 時:10月29日(金) 9:00~11:00

場 所:大通公園7丁目・南東花壇(ボランティア花壇)

参加者:10名

冬に向けて、花苗・枕木の撤去作業を行いました。寒い中の作業でしたが、思ったよりも順調に進みました。

コロナ禍の中での花壇造成の年でしたが、無事に終了することができました。

来年は「距離を保ちつつも、マスクなしで談笑しながら」花植え作業ができるようになると良いで すね!













🧱 🛟 🦛 来年もきれいな花壇をつくります!みなさま、気軽にご参加くださいね!! 北造協・女性部 緑麗会 🥞





■ 要望活動の推進 ■

【(一社)日本造園建設業協会北海道総支部との合同の意見交換(要望)

意見交換(要望)「憩いと安らぎを与える緑化の推進について」

- 1 造園関連予算の安定的な確保
- 2 道路緑化の推進
- 3 公園等の整備・改修工事の推進
- 4 道路・河川などの法面植生工事の分離発注
- 5 担い手の確保・育成のための支援の拡大

1 北海道総合政策部 知事室

日 時 8月23日 (月) 13:30~





2 北海道建設部

日 時 8月23日 (月) 14:00 ∼









3 札幌建設管理部

日 時 8月23日 (月) 15:00~





4 郵送による要望を行った道の出先機関

オホーツク総合振興局 釧路総合振興局 後志総合振興局(小樽建設管理部) 渡島総合振興局 宗谷総合振興局 留萌振興局 十勝総合振興局

自民党北海道支部連合会 令和3年度 団体政策懇談会

日 時 10月13日 (水) 14:00~

場 所 道議会 4階 自民党中会議室(中央区北2西6)

要望内容 1 緑化による道路景観向上対策の推進

- 2 防雪林の活用・拡大
- 3 公園等の整備、改修工事の推進
- 4 法面植生工事の分離発注
- 5 担い手の確保・育成への支援







自民党各種友好団体との政策懇談会

日 時:12月11日 (土) 14:30~

場 所: 札幌パークホテル 1階 テラスルーム (中央区南10条西3丁目)

出席者:高橋はるみ道連会長代行、中村・和田・武部・高木・中川・堀井各衆議院議員

船橋前衆議院議員、高橋祐介第2区支部長、道議会議員他

北造協より 嘉屋会長、加藤専務理事

内 容:各種団体からの要望・提言説明





■ 札幌市への緑化推進政策に関する要望(北造協札幌支部)

日 時 10月29日 (金) 10:55 ∼

場 所 大通バスセンタービル1号館

6階 みどりの推進部

要望内容:1 緑化関連予算の確保について

2 入札制度について

3 経営の継続と安定化について













令和3年 秋の褒章伝達式



日 時:12月1日 (水) 11:30~ **場** 所:北海道庁 建設部A会議室

受 賞:黄綬褒章 業務精励《造園工事業》

受賞者:(一社) 北海道造園緑化建設業協会 副会長 神原 喜好氏(北海日植㈱代表取締役社長)

伝達者:北谷 啓幸 建設部長

多年にわたり仕事に励んできた、人々の模範たるべき人に対して贈られています。







令和3年 建設事業関係功労者等 国土交通大臣表彰 表彰式



日 時:11月25日(木) 15:00~

場 所:国土交通省 10階 共同大会議室 (東京都千代田区霞が関 2-1-3)

受 賞:国土交通大臣表彰(建設事業関係功労)都市計画事業関係

受賞者:(一社) 北海道造園緑化建設業協会 理事 三栖 裕司 氏 (㈱宝樹造園 代表取締役社長)

多年造園工事業に精励するとともに関係団体の役員として地方業界の発展に寄与した個人または団体に表彰を行っています。







令和3年度現場見学会に参加して

北海道当別高校園芸デザイン科2年 田 中 友 太

私は今まで造園の勉強をしてきましたが、今回、北海道造園緑化建設業協会主催の現場見学会に参加させていただいて、想像をはるかに超える規模の材料や道具が集められ、多くの人が関わる現場を目の当たりにし、普段見ることのできない大変貴重な経験をさせていただきました。

最初に向かったのは、株式会社コクサク様が受注し担当されている西区にある農試公園施設再整備工事の現場でした。雨が降ったり止んだりと不安定な天気でしたが、そんな中、様々な重機が動いていて、作業されている方も真剣な面持ちでした。印象に残ったのは築山の造成箇所でした。細かいところまで丁寧に作られたとても見栄えのよい築山で、「本当にきれいだなぁ、やはりプロの仕事だなぁ」と思いました。

その後、樹芸センターで昼食をいただき、協会の嘉屋会長からご挨拶をいただきました。若い人の 造園業での活躍を期待していると言われ、うれしく思いました。

午後は、横山造園株式会社様が請け負われた豊平区の西岡ぬまた公園再整備工事を視察しました。 照明用スタンドの基礎にコンクリートを流す型枠や、すでに出来上がったコンクリートの設備など、 数々の工事を説明していただきました。コンクリートを使った工事を実際に見たことがなかったので、 新鮮でした。また、最近では、工事を安全に正確に進めるだけでなく、現場の地域住民の皆様とコミ







ュニケーションを取って工事を理解してもらうことも重要になってきていることを教えていただき、 大変勉強になりました。

見学会を終えて、それまでは「造園=庭造り」というイメージがあり、公園の工事などの仕事もあることを知りませんでした。今回の見学会で、造園業は大変幅広く、土木工事を含め、様々な工事が関わっているとことを理解することができました

私は今まで、造園の仕事に就くことを夢に授業や実習に取り組んできました。また、私の兄も当別高校で造園を学び、現在株式会社コクサク様の社員としてがんばっています。今回、造園の世界の広さを知り、ますます魅力を感じました。今回の見学会の体験や学びを生かし、自分の進路実現のために残された学校生活を大切にしていきたいと思います。

最後になりましたが、今回の見学会を開催してくださいました北海道造園緑化建設業協会の皆様、 見学会でご説明いただきました株式会社コクサク様、横山造園株式会社様に心からお礼申し上げます。 ありがとうございました。





コラム:出前講座に参加して



出前講座に参加して

北海道大学大学院農学院 花卉・緑地計画学 修士 2 年 **林** 和 沙

2021年7月9日に北海道大学農学部にて開催された、北海道造園緑化建設業協会の皆さんによる出前講座に参加させていただきました。本講義では造園建設業の特徴や社会的な役割、実際の造園施工現場での作業過程について具体的に学ぶことができました。私はこれまでの大学生活で、花卉学や造園学の受講や、造園設計実習などは経験したことがありますが、実際の造園施工管理の現場に従事する方々にお話を聞くことが初めてであったため、大変貴重な機会となりました。

前半は株式会社南香園の廣部さんから、造園建設業の扱う業務について全般的な説明をしていただきました。その中で印象に残ったのは、造園建設業はみどりという「生き物」を扱う唯一の建設業であり、つくったものの品質をその後の管理によって維持することができるだけでなく向上さえも可能であるというお話です。これまで、大学での公園設計実習などを通して、施工後の植栽の成長やそれに伴う空間の変化を予測しながら設計を行うことは当たり前であると思っていましたが、このお話を聞き、改めて「みどり」という製品の強みに気づき、魅力を感じました。造って終わりではなく、周りの環境やその時の社会状況に合わせた維持管理を行うことができるからこそ、「みどり」が生きた場づくりに貢献できるのだということを学びました。









講座の後半は、株式会社サンコー緑化の大角さんより、実際の施工現場での具体的な業務について過去の事例に基づいて紹介していただきました。円山動物園正門前の再整備工事の例では、地下部のインフラ整備や敷地造成など、なかなか見ることのできない施工業務について知ることができました。札幌軟石を使った花壇やベンチの施工や、伐採した樹木の再利用や資源化などの細かな工夫も大変興味深く感じました。また、民間工事の例として説明いただいた鶴雅阿寒アイヌの庭ランドスケープ工事も印象深いものでした。設計を担われた高野文彰さんや映像プロデューサーの深津周一さん、木彫り作家さんや、ガーデナー、鶴雅リゾートのホテル関係者などの様々な方々との協働によって、この文化的空間が生み出されたことを学びました。計画・設計段階から施工に至るまでの丁寧な議論と試行錯誤が、愛される場づくりの鍵であるように感じました。

本講座を通して、これまで私の中でぼんやりとしていた造園建設業の仕事について明確なイメージを持つことができたと思います。一つひとつの業務の細かな工夫や地域に根ざした取り組みについてもご紹介いただき、将来、ランドスケープ業界に従事したいと考えている私にとって有意義な講座となりました。









協会の動き 令和3年7月~12月

11月

12月

 7月
 第1回日造協・北造協連絡協議会 (※ Web 会議)

 20日
 第1回若手経営幹部・緑麗会合同会 議 (※ Web 会議)

 26日
 緑麗会 大通オリンピック花壇造成 26日

 26日
 札幌支部 令和3年度地区懇談会

 5日
 札幌支部 第1回事業委員会 (※ Web 会議)

 19日
 現場見学会 (当別高校)

 23日
 北海道総合政策部知事室・建設部・札幌建設管理部へ緑化行政に関する 意見交換

 24日
 緑麗会 大通夏花壇造成

9日 北大大学院農学研究院での出前講座

5 日	第2回若手経営幹部・緑麗会合同会	ï
	議(※ Web 会議)	

19日 日造協・北造協合同 全国都市緑化 北海道フェア打合せ会議 (※ Web 会議)

10日 第1回北海道造園懇話会 幹事·監 事会(※書面開催)

11 日 第 1 回北海道造園緑化関係団体連絡協議会 幹事会(※ Web 会議)

16日 札幌支部 第3回事業委員会役員会 (※ Web 会議)

25 日 第1回植生技術委員会

25日 令和3年建設事業関係功労者等国土 交通大臣表彰 表彰式(受賞者:三 栖理事)

9月 事業開催なし

 令和3年度定期総会(※Web会議)
 13日 自民党北海道支部連合会 団体政策 懇談会
 25日 札幌支部 第2回事業委員会役員会 (※Web会議)
 26日 第39回全国都市緑化北海道フェア 庭園出展に係る出展説明会(恵庭市)
 29日 緑麗会 大通花壇撤去作業
 29日 札幌支部 札幌市へ緑化推進政策に 関する要望

8日 北海道造園緑化関係団体連絡協議会

1日 令和3年秋の褒章伝達式(受賞者: 神原副会長)

11日 自民党北海道支部連合会 政策懇談 会

14日 第1回正副会長会議

21日 第2回総務委員会

27 日 第 3 回若手経営幹部・緑麗会合同会 議





一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会 組織体制図

令和4年1月1日 現在

会 長

嘉屋幸浩

副会長

四宮 繁、神原喜好

理 事

会員理事: 嘉屋幸浩(㈱園建)、四宮 繁(㈱四宮造園)、神原喜好(北海日植㈱)

池田智仁(㈱真栄造園)、梶尾 求(㈱梶尾花園)、嘉屋幸治(㈱蔵田喜芳園)、坂尻隆則(㈱緑土興産)、

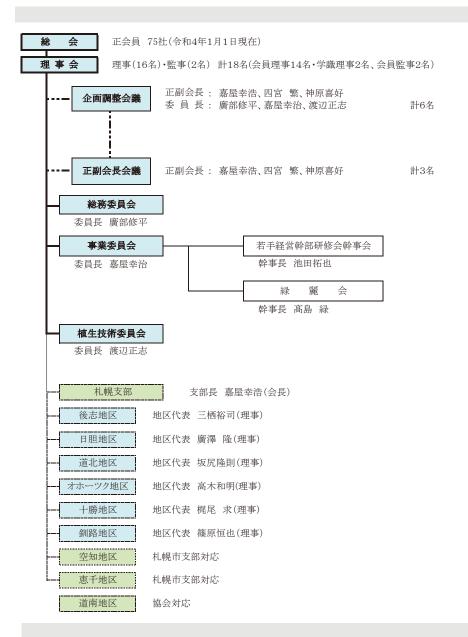
佐々木一敏(㈱サンコー緑化)、篠原恒也(㈱篠原園芸)、高木和明(㈱高木園芸)、武田 久(㈱札幌ニット)、

畑山浩二(日本緑化工㈱)、廣澤 隆(㈱道南レミック)、三栖裕司(㈱宝樹造園)

学識理事: 加藤建一(専務理事)、古瀬和由(常務理事)

監事

会員監事 大川澄雄(アルファ電建㈱)、細田洋介(㈱細田造園)



顧問

愛甲哲也(北海道大学大学院農学研究院)、大塚英典、木村 篤(道路建設㈱)、中野淑文(㈱田中組)、福田尚人(侑開成舎)、三木正俊(弁護士)

相談役

森 正志(㈱森造園)





般社団法人 北海道造園緑化建設業協会

令和4年1月1日現在

札幌市中央区南一条東一丁目2番地1 太平洋興発ビル2F

TEL (011) 221-4451 FAX (011) 232-5611 URL http://www.hokuzoukyou.or.jp E-mail: lila-1976@hokuzoukyou.or.jp 正会員数 75社

特別会員数 6社 賛助会員数 7社

▲ 札幌地区(46社)

㈱有末造園 (株)平野造園 アルファ雷建株

(株) 市川 浩 園 北海道秋山浩園傑

(株)北海道造園コンサルタント (株)岩崎造園土木

㈱岩本石庭 北海道三祐(株)

(株)園 建

(株)蔵田喜芳園 北方緑化工業㈱

(株)グリーンメイクハラダ

(株)コクサク

(株)札幌ニット

(株)札幌緑興

(株)佐藤萬香園

(株)サンコー緑化

株四宮造園

(株)集楽園

㈱真栄造園

㈱真栄緑化土木

(株)スペース・デザイン工業

株高島造園工業

㈱高重造園

何タモリ 建商

道央緑化㈱

(株)道建緑化工業

(株)南香園

(株)ニットメンテナンス

日本体育施設㈱北海道営業所

㈱日本庭園

日本緑化工㈱

(株)細田浩園

北海目植(株)

(株)真鍋造園

マルミプラス(株)

(株)森浩園

(株)森造園土木

(株)山吉髙島造園

株湯川造園

雪印種苗(株)

横浜植木㈱北海道支店

(株)横山造園

緑化デザイン(株)

ロンタイ(株)札幌支店

▲ 空知地区(3社)

(株)藤樹園

(株)北海道アトリウム

馬淵建設(株)

▲ 後志地区(2社)

㈱阿部新香園

(株)宝樹造園

届別地区(5社)

(株)金谷造園

景観緑化㈱

(株)道南レミック

長岡浩園㈱

緑豊建設(株)

釧路地区(6社)

(株)アヤメ緑化工業

大友诰園建設(株)

(株)篠原園芸

肥土原産業(株)

有摩周植物園

正栄機工㈱

(株)高倉

㈱ヨシダ浩園緑化

特別会員(6社)

(株)アイティエス札幌事業所

カネコ種苗(株)札幌支店

(株)共成レンテム営業本部

ハスクバーナ・ゼノア(株)

▲ 道北地区(3社)

(株)石田兼松八興建設

北海道グリーン工業(株)

(株)緑土興産

🎪 オホーツク地区

(5社)

(株)遠 藤

(株)高木園芸

(株)タナカ

(株)緑 翔

淮 (株)緑

㈱阿部造園

(株)イノタニ

(株)梶尾花園

(株)ケイセイ

株真鍋庭園緑化

★ 十勝地区(5社)

於 替助会員(7社)

下村太郎

(株)トータルネットワーク

㈱建築資料研究社北海道支店

(有)ナベックス

(株)日産フィナンシャル

サービス

北海道支店

北海道日産自動車㈱

山下裕司

一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会会員

正会員 75社 (令和4年1月1日現在)

会 社 名	代表	マク マー	郵便番号	住 所	TEL
	1020	80	型 使 任 写	住所	166
【札幌地区】46社	^ ¬	W.C			(044) 074 0404
㈱ 有 末 造 園	金子	光男	₸ 003-0822	札幌市白石区菊水元町2条5丁目3番1号	(011) 871-2101
アルファ電建㈱	大川	澄雄	₹ 007-0844	札幌市東区北44条東13丁目2番5号KS44	(011) 741-8611
㈱ 市 川 造 園	市川	俊明	〒 007-0874	札幌市東区伏古14条3丁目13番10号	(011) 783-5411
㈱岩崎造園土木	西村	卓也	₸ 007-0894	札幌市東区中沼西4条1丁目3番12号	(011) 790-4577
㈱ 岩 本 石 庭	岩本	任功	₸ 005-0003	札幌市南区澄川3条2丁目5番7号 ブルークビル3F	(011) 833-5128
(株) 園 建	嘉屋	幸浩	₹ 004-0042	札幌市厚別区大谷地西6丁目2番3号	(011) 891-7111
㈱蔵田喜芳園	嘉屋	幸治	₸ 004-0878	札幌市清田区平岡8条1丁目13番23号	(011) 886-8235
㈱グリーンメイクハラダ	則包	幸男	₸ 007-0827	札幌市東区東雁来7条2丁目12番12号	(011) 783-4500
㈱コクサク	早坂	有生	₸ 062-0052	札幌市豊平区月寒東2条16丁目1番89号	(011) 851-2111
㈱札幌ニット	武田	久	₸ 003-0024	札幌市白石区本郷通4丁目南2番9号	(011) 864-3477
㈱ 札 幌 緑 興	梶野	陽一	₸ 004-0002	札幌市厚別区厚別東2条3丁目1番5号	(011) 898-1051
㈱佐藤萬香園	佐藤	伸一	₸ 001-0024	札幌市北区北24条西15丁目1番7号	(011) 726-2930
㈱サンコー緑化	佐々木	一敏	₸ 003-0828	札幌市白石区菊水元町8条1丁目8番21号	(011) 875-1608
㈱四宮造園	四宮	繁	₹ 004-0022	札幌市厚別区厚別南3丁目2番25号	(011) 892-0881
㈱ 集 楽 園	小玉三	智子	₹ 005-0801	札幌市南区川沿1条5丁目1番15号	(011) 571-8897
㈱ 真 栄 造 園	池田	智仁	₸ 004-0839	札幌市清田区真栄 487番地	(011) 881-3475
㈱真栄緑化土木	橋本	悟	₸ 004-0831	札幌市清田区真栄1条1丁目15番11号	(011) 881-8951
㈱スペース・デザイン工業	高橋	宏明	₸ 006-0034	札幌市手稲区稲穂4条5丁目6番12号	(011) 684-1657
㈱高島造園工業	髙島	緑	₸ 004-0812	札幌市清田区美しが丘2条4丁目17番20号	(011) 881-2975
㈱ 髙 重 造 園	佐和田	日匠	₸ 064-0806	札幌市中央区南6条西26丁目4番1号	(011) 551-1765
侑タモリ建商	田森	征詔	₸ 062-0033	札幌市豊平区西岡3条10丁目1番20号	(011) 855-0866
道央緑化㈱	星野	智	₸ 002-0854	札幌市北区屯田4条8丁目6番34号	(011) 773-0686
㈱道建緑化工業	角田	隆	₸ 064-0925	札幌市中央区南25条西11丁目1番12号	(011) 531-0166
㈱ 南 香 園	廣部	修平	〒 060-0011	札幌市中央区北11条西15丁目1番52号	(011) 747-9266
㈱二ットメンテナンス	川村	光徳	₸ 003-0023	札幌市白石区南郷通4丁目北4番20号	(011) 863-6870
日本体育施設㈱北海道営業所	甲斐	聖	₸ 063-0006	札幌市西区山の手6条7丁目2番17号	(011) 614-1321
㈱ 日 本 庭 園	伊藤	哲弥	₹ 006-0819	札幌市手稲区前田9条11丁目5番30号	(011) 684-2458
日本縁化工㈱	畑山	浩二	₸ 002-8028	札幌市北区篠路8条5丁目2番1号	(011) 775-3200
㈱ 平 野 造 園	平野	一美	₹ 003-0027	札幌市白石区本通7丁目北1番23号	(011) 863-2384
㈱細田造園	細田	洋介	〒 005-0841	札幌市南区石山1条7丁目1番14号	(011) 591-3041
北海道秋山造園㈱	丸山	敝一	〒 007-0837	札幌市東区北37条東16丁目3番1号	(011) 785-6115
㈱北海道造園コンサルタント	荻野	和彦	₸ 004-0022	札幌市厚別区厚別南3丁目2番24号	(011) 887-9091
北海道三祐㈱	笹浪	圭吾	〒 002-0856	札幌市北区屯田6条8丁目9番12号	(011) 773-5121
北海日植㈱	神原	喜好	₸ 001-0023	札幌市北区北23条西7丁目1番33号北海NISSHOKUビル	(011) 707-6201
北方縁化工業㈱	鎌田	浩	₸ 062-0934	札幌市豊平区平岸4条3丁目6番5号	(011) 811-3897
㈱ 真 鍋 造 園	真鍋	昌市	₸ 062-0020	札幌市豊平区月寒中央通6丁目2番16号	(011) 851-8028
マルミプラス㈱	刈田	晋弥	₹ 002-8023	札幌市北区篠路3条7丁目5番14号	(011) 771-2438
(株) 森 造 園	森	正光	₹ 062-0052	札幌市豊平区月寒東2条20丁目8番5号	(011) 851-8534
(株) 森 造 園 土 木	斉藤	靖	₹ 005-0842	札幌市南区石山2条9丁目5番7号	(011) 591-8435
株山吉髙島造園	髙島	利夫	₸ 007-0867	札幌市東区伏古7条2丁目3番16号	(011) 781-2235
(,200)269	رىد.	132	. 00, 0007		(11.1)

A +1 - A	ハキャク	和压亚口	A T	T.C.1
会社名	代表者名	郵便番号	住 所	TEL
㈱湯川造園	湯川淳	₹ 004-0842	札幌市清田区清田2条2丁目14番37号	(011) 884-7071
雪印種苗㈱	高山光男	₸ 004-8531	札幌市厚別区上野幌1条5丁目1番8号	(011) 891-5691
横浜植木㈱北海道支店	喜多 伸行	₸ 003-0029	札幌市白石区平和通14丁目北2番16号	(011) 862-3561
㈱ 横 山 造 園	小華和 坦	₸ 063-0826	札幌市西区発寒6条5丁目5番3号	(011) 661-6283
緑化デザイン㈱	小林 勝美	₹ 065-0043	札幌市東区苗穂町4丁目1番8号	(011) 741-5076
ロンタイ㈱札幌支店	小林 健嗣	₹ 062-0932	札幌市豊平区平岸2条4丁目4番2号	(011) 823-5780
【空知地区】(3社)	→ ** +=	_ 072 0405	ルナウナウナカデ 1 4 0 平 ル	(0125) 42, 2220
(株) 藤 樹 園	斉藤 靖	₹ 073-0405 = 070-0343	歌志内市字神威140番地	(0125) 42-2239
㈱北海道アトリウム	工藤克彦	₹ 079-0313 = 060,0033	空知郡奈井江町字奈井江町171番地35	(0125) 65-5707
馬淵建設㈱	久保 隆	₸ 068-0833	岩見沢市志文町966番地15	(0126) 25-6400
【後志地区】(2社)				
(株阿部新香園	阿部 哲也	〒 048-2671	小樽市オタモイ3丁目1番1号	(0134) 26-2537
株宝樹造園	三栖裕司	T 048-2672	小樽市塩谷4丁目13番地	(0134) 26-0488
(体) 土 倒 足 图	二個 恰可	1 040-2072	小特川塩台4」日13 金地	(0134)20-0400
【日胆地区】(5社)				
概 金 谷 造 園	金谷泰央	〒 059-1741	勇払郡厚真町字上厚真219番地4	(0145) 28-2537
景観緑化㈱	宮﨑 洋二	₹ 053-0054	苫小牧市明野新町3丁目7番2号	(0144) 55-4165
㈱道南レミック	廣澤 隆	₹ 053-0052	苦小牧市新開町3丁目4番3号	(0144) 82-8661
長岡造園㈱	長岡直人	₹ 053-0055	苦小牧市新明町5丁目29番9号	(0144) 55-2736
禄豊建設㈱	矢部 繁	± 053-0021	苦小牧市若草町1丁目2番7号	(0144) 32-7765
	八郎 未	1 033 0021		(0144/32 //03
【道北地区】(3社)				
㈱石田兼松八興建設	石田 一彦	〒 070-0810	旭川市本町2丁目437番地119	(0166) 51-3211
北海道グリーン工業㈱	福地 弘明	〒 079-8416	旭川市永山6条1丁目2番19号	(0166) 22-6850
(株) 緑 土 興 産	坂尻 隆則	〒 071-8121	旭川市末広東1条7丁目7番9号	(0166) 57-7620
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			,
【オホーツク地区】(5社)				
(株) 遠 藤	遠藤登志子	₸ 091-0004	北見市留辺蘂町上町134番地	(0157) 42-3508
㈱ 高 木 園 芸	高木 和明	₸ 099-1586	北見市広郷1136番地3	(0157) 39-3224
㈱タナカ	田中勝則	₸ 093-0042	網走市潮見2丁目15番1号	(0152) 44-4353
(株) 緑 翔	井上 宏樹	〒 099-1587	北見市豊地22番11号(工業団地)	(0157) 66-1030
㈱ 緑 進	田中伸宏	₸ 090-0058	北見市高栄西町9丁目1番18号	(0157) 61-0195
【十勝地区】(5社)				
㈱ 阿 部 造 園	阿部 英輝	₹ 080-0141	河東郡音更町宝来北1条2丁目2番地	(0155) 31-2350
㈱イノタニ	猪谷 直樹	₹ 080-0015	帯広市西5条南30丁目13番地	(0155) 24-3073
㈱ 梶 尾 花 園	梶尾 求	₸ 080-0033	帯広市西3条北1丁目13番地	(0155) 24-0505
㈱ケイセイ	佐野 公彦	₸ 080-0805	帯広市東5条南7丁目1番地3	(0155) 22-7115
㈱真鍋庭園緑化	真鍋憲太郎	₹ 080-0832	帯広市稲田町東2線6番地	(0155) 48-2120

会 社 名	代表	者名	郵便番号	住 所	TEL
【釧路地区】(6社)					
㈱アヤメ緑化工業	菖蒲	哲也	〒 086-1127	標津郡中標津町西7条北4丁目1番地5	(0153) 72-8535
大友造園建設㈱	大友	淳	〒 084-0917	釧路市大楽毛4丁目3番4号	(0154) 57-8226
㈱ 篠 原 園 芸	篠原	恒也	₹ 085-0038	釧路市花園町5番4号	(0154) 22-3230
肥土原産業㈱	佐藤	孝行	₹ 084-0906	釧路市鳥取大通3丁目2番10号	(0154) 51-7630
何摩周植物 園	古瀬	廣幾	₹ 088-3202	川上郡弟子屈町鈴蘭2丁目4番3号	(0154) 82-2406
㈱ヨシダ造園緑化	吉田	英司	₸ 085-0814	釧路市緑ヶ岡2丁目36番15号	(0154) 42-5270
【特別会員】(6社)					
㈱アイティエス札幌事業所	河原	健光	₹ 064-0925	札幌市中央区南25条西12丁目3番23号	(011) 520-6800
カネコ種苗㈱札幌支店	石坂	伸彦	₹ 003-0030	札幌市白石区流通センター 1丁目2番15号	(011) 861-5659
㈱共成レンテム営業本部	堀	一敏	₸ 064-0809	札幌市中央区南9条西11丁目 きだパレス2階	(011) 883-8283
正栄機工㈱	及川	泉	₸ 065-0024	札幌市東区北24条東16丁目1番6号	(011) 785-8111
㈱ 高 倉	遠藤	友二	₸ 064-0809	札幌市中央区南9条西8丁目2番33号	(011) 511-3026
ハスクバーナ・ゼノア㈱北海道支店	木寺	隆	₸ 007-0827	札幌市東区東雁来7条2丁目12番5号	(011) 594-8878
【	J\ D⊅ C	¬ <i>[7⁄</i> 2	= 0(0,0000		(011) 051 (010
	小路[] 隆	T 060-0032	札幌市中央区北2条東4丁目札幌ファクトリー三条館4階	(011) 251-6010
下村太郎	小白	++ 177	T 059-1275	苦小牧市錦岡813番地	(0144) 68-6320
㈱トータルネットワーク	小島	恭平	₹ 060-0033 = 060-0061	札幌市中央区北3条東3丁目1番30号 KNビル3階	(011) 222-2155
(制力でックス) (対力を引き上げる)	渡辺	良彦	T 069-0861	江別市大麻北町518番地78	(011) 386-4409
株日産フィナンシャルサービス	内村	直友	₹ 060-0042 = 065,0010	札幌市中央区大通西6丁目10番地 大通公園ビル4階	(011) 796-5523
北海道日産自動車㈱	原田原	多工門	T 065-0019	札幌市東区北19条東1丁目2番20号	(011) 351-4123
山下裕司			〒 007-0895	札幌市東区中沼西5条1丁目5番15号	(011) 555-9744

令和3年度

≪造園CPD対象≫

造園技術講演会

令和4年 3月4日(金) 13:30~17:00

オンライン「ZOOM」にて配信

定員:200名 無料

※申込締切 2月24日(木)

講演会のお申し込みは <mark>協会ホームページから</mark>お願いします。 詳しくは裏面をご覧ください。

申込ページは、こちらから ⇒



第1部 13:40~15:10

「北の国の観光と生活への新時代の 『造園技術』」

講師 進士 五十八氏

(福井県立大学長/東京農業大学名誉教授・元学長)

第2部 15:20~16:50

「花のまち恵庭と ガーデンフェスタ北海道2022について」

うえやま けんたろう (**行政編**) 講 師 上山 謙太郎氏 (恵庭市経済部 全国都市緑化北海道フェア推進室 主査)

《施工編》講師 土谷 美紀氏 (㈱サンガーデン 取締役/恵庭市フラワーマスター協議会 事務局長)





主催(一社)北海道造園緑化建設業協会/共催(一社)日本造園建設業協会北海道総支部



【申込先】 一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会 〒060-0051 札幌市中央区南1条東1丁目2番地1太平洋興発ビル 2階

TEL 011-221-4451 FAX 011-232-5611

E-mail: lila-1976@hokuzoukyou.or.jp

講演会のお申し込みは、北造協ホームページより、 オンラインでお申込できます。(※スマートフォン対応可)

造園 CPD 単位申請の申込もこちらから。会員証をご用意ください。

お申し込み方法

●北造協のホームページへアクセス。

(URL: http://www.hokuzoukyou.or.jp/または検索サイトにて「北造協」で検索)

- ●ホームページ内『ご案内』をクリック、「令和3年度 講演会申込み」の『WEBから参加申込する』より手順に沿って必要事項を入力し、送信ください。
- ●お申し込みのメールが到着後すぐに、受け付けたことをご確認いただくため 「受付メール」を送信いただいたメールアドレスへ返信しますので、ご確認をお願 い致します。(ご確認後は、削除していただいて構いません)

※メール受信拒否などの制限をかけている方は、「@hokuzoukyou.or.jp」 を許可するように設定をしてください。

【造園 CPD 単位申請のお申し込み】

■講演会申込フォームの「参加者のお名前」欄に、下記の内容をご記入ください。

お名前(フリガナ) - CPD 会員 ID - 所属団体記号(※記号の説明は北造協 HP の講演会申込ページに記載があります)

【例】建設太郎さん・CPDID 012345678901・日造協

参加者のお名前 | 建設太郎(ケンセツタロウ)-012345678901-C



講演会 1週間~3日前

●お申し込み時に、ご記入いただいたメールアドレスへ『講演会オンライン配信・ 招待メール(URL 付きメール)』を送信いたします。



講演会当日

●パソコン・スマートフォンより『講演会オンライン配信・招待メール』の URL を クリックして、講演会に参加してください。

《注意事項》

- ①講演会は zoom オンライン配信にて開催します。**あらかじめインターネット環境の整備**をお願いします。
- ②講演会前日までにパソコン・スマートフォンなどに zoom アプリをダウンロードしておいてください。
- ③zoom オンライン配信にかかる通信料などは自己負担となりますので予めご了承ください。

〈お問い合わせ先〉一般社団法人 北海道造園緑化建設業協会 TEL(011)221-4451 / FAX(011)232-5611





第39回 全国都市緑化北海道フェア

ガーデンフェスタ北海道2022



2022 6 / 25 SAT - 7 / 24 SUN 会場 恵庭市 花の拠点 「はなふる」 周辺 他 ENIWA







ガーデンフェスタ北海道2022

花と緑の祭典「全国都市緑化フェア」が、花のまち「えにわ」を舞台に開催!



市民主導による花のまちづくりが盛んで、

「ガーデニングのまち」として全国的にも知られる北海道恵庭市。 街の大通りや商店会、個人の庭にいたるまで花で飾られ、 花と緑の美しいまちをつくりあげています。

また、市には「花と緑・観光課」が設置されており、市民・生産者・専門家・ 行政が一体となって花と緑の環境づくりに取り組んでいます。



恵庭市"花"のまちづくり



恵庭市を代表する花のイベント。花で装飾された会場 では、花苗の販売、オークションやステージイベント 筝が開催されてきました。



個人やお店などが、お庭を一定の期間公開。オープン ガーデンの場所をまとめた花マップの制作や、市民ポ ランティア花ガイドによるオープンガーデンツア-等も行われてきました。



1983年の開始以来、市内小・中学校の敷地や各町内会 にある公園に植樹等を行っています。これまでに1万 人以上が参加し、1万本以上の苗木を植樹しました。

メイン会場



花の拠点『はなふる』・まちなか会場

※まちなか会場はIR恵み野駅~メイン会場

ガーデンフェスタ北海道2022のメイン会場は、恵庭市の新たな花の観光地として2020年11月にオー プンした花の拠点「はなふる」周辺。これまでの恵庭の「花の文化」「市民の文化」の魅力が集約された、 新しい観光スポットを舞台に、北海道の花と緑の文化を広く全国に発信します。

花の拠点『はなふる』北海道恵庭市南島松828-3(道と川の駅「花ロードえにわ | 隣接) ・JR恵庭駅からシャトルバス運行 約9分 ・JR恵み野駅から徒歩15分

市道松園線 造園や園芸関係の企業・団体等が中心に創造 した北海道ならではの花と緑であふれる楽 しく心豊かに暮らすためのガーデンを提案

飲食·物販

農畜産物直売所(かのな

プランターや鉢などのコンテナ(容 器)に花や緑を用いた目々の暮らし への潤いを提案。見る方に感動を与 える小さな庭が並びます。

P

全国各地の自治体の特徴を恵庭市のオープ ンガーデンでよく取り入れられている「バ ラ」を主役とした花や緑で表現します。

STATEMENT . Same 2

道圏や圏芸関係の近条・ した北海道ならでは内が しく心豊かに暮らすため します。 中央芝生広場花道

市民参加花壇

漁川の河川区域では、地元の幼児や市民らの参加に よるたねダンゴ花壇等を設け、彩ります。

花の拠点(はなふる)の東側、かわ まちづくり区域のピクニックガー デンは、子供が楽しめる、ふれあい

無馬

医道

三 剑

ME

超

の場所です。

- や自治体・企業・団体、全国の高校生、恵庭市民の皆さまの参加等による、 会期中、北海道を代表するガー 様々な花壇や庭園、ハンギングバスケット等の展示やコンテストが開催されます。

北海道観光PRキャラクターのキュンちゃんと、恵庭ゆかりのキャラクターたちが応援! ガーデンフェスタ北海道フレンズ GARDEN FESTA HOKKAIDO FRIENDS

キュンちゃん ガーデンフェスタV



恵庭市移住・ 定住支援サイト 「ガーデンシテ



えびすくん



恵庭観光協会

恵庭市 ENIWA

札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置 、充実した都市機能と美しい田園環 境、豊かな自然環境を有する道央エリア の中核都市です。

札幌からの所要時間 |・JR:約23分



·車(道央自動車道):約30分

|新千歳空港からの所要時間|・JR:約13分 ・車(道央自動車道):約20分



Q https://garden-festa2022.jp/





編集後記

新型コロナウィルスの被害に遭われた方々にはお見舞い申し上げますとともに、医療関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

新型コロナウィルスに翻弄され続け早2年が経とうとしています。日本国内の感染者数は2021年12月現在落ち着きを見せていますが、世界各国を見渡すとオミクロン株による感染拡大が止まらない状況が続いています。日本も水際対策を強化するなど、社会活動・経済活動がコロナ禍以前のように戻るにはまだしばらく時間が掛かりそうな状況です。人間とウィルスが共存し、人間が社会活動・経済活動を進めるためにはやはり基本的な感染症対策を徹底していくしかないのではないかと思います。

でも、2021 年は暗い話題ばかりではありませんでした。コロナ禍の影響で様々な意見があったと思いますが、東京オリンピック・パラリンピックが開催されました。日本人選手も数多くのメダルを獲得しました。日本人選手のメダル獲得も感動いたしましたが、それ以上に私は、スケートボードに代表されたように、選手同士が国を超えて讃えあう姿にとても感動いたしました。これこそスポーツのなせる業であり真骨頂であると感じました。

話題は変わりますが、2022年は北海道の緑化関係者にとって意義深い1年となりそうです。造園学会の全国大会、そして都市緑化フェアが開催されます。都市緑化に対する国民の理解と協力を得て都市緑化の推進を図り潤いのあるまちづくりに寄与するために、学術的な面、緑化意識の高揚、知識の普及ということを北海道から全国に発信する場となります。都市緑化・造園に係るものとして、是非とも両事業が成功するよう力を合わせていきたいものであります。

最後になりますが、総務委員会では広報誌「みどり」をはじめとした情報発信を積極的に行ってまいりたいところであります。関係者の皆様には広報誌への寄稿やアンケートへのご回答をお願いすることもあるかと存じますが、ご協力いただけますようお願い致します。

総務委員長 廣部 修平

北造協サポーター「ほくぞう」

北造協サポーター「ほくぞう」は、北海道に生息するエゾリス。まちの緑を守るため、造園建設業者の若手社員を口うるさく指導する。

厳寒期でも冬眠しない働き者。

木の実をせっせと植えて緑を増やすのが大好き。

するどいしっぽをノコの代わりにして剪定作業もこなし、樹木を育てている。

■表紙写真

第3回みどりの景観フォトコンテスト佳作作品

『Tree on the street』 撮影者:谷口健太氏





総務委員会

委員長 廣部 修平

副委員長 池田 智仁・大川 澄雄

大友 淳·鎌田 浩 久惠 信一·武田 久

廣澤 隆·福地 弘明 真鍋 昌市·三栖 裕司

森 正光



シンボルマークのコンセプト

正三角形のグリーンのフォルムは北海道の代表樹エゾマツが大空に伸びてゆくさまを、白い3本のウェーブは大地を流れる川を示す。中央下のブルーの楕円は樹の幹を、それに続く楕円群は庭石を表し、協会の堅い結束と広がる交流を意図している。

札幌市中央区南1条東1丁目 太平洋興発ビル TEL 011-221-4451/FAX 011-232-5611